

## 平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	卒業研究 (Graduation Thesis)		授業コード	C109936
担当教員名	坪倉 篤志		科目ナンバリングコード	
配当学年	4	開講期	前期	
必修・選択区分	必修	単位数	6	
履修上の注意または履修条件	規定単位数を越えている事。 当研究室で取組んでいる研究は、研究室ホームページで紹介しています。当研究室を選択する前に、事前に確認してください。 グループでの取り組みであっても、グループ内で役割分担をし、各自の取り組みを明確にします。			
受講心得	各自で設定した研究目標に向かって取組めます。課題と出席を欠かさないでください。卒業論文、卒業研究発表会と中間発表会での発表は必須です。			
教科書	必要に応じて教員が資料を指示します。			
参考文献及び指定図書	必要に応じて教員が資料を指示します。			
関連科目	CG基礎、CG1、CG2、CG3、Webデザイン基礎、Webデザイン、Webプランニング論、情報デザイン			

授業の目的	卒業研究は、大学4年間の集大成です。卒業研究では、自主的な取り組みはもちろんのことですが、問題意識をもち、調査、分析、結果として卒業論文としてまとめます。その後、第三者に対してわかりやすく発表、発表の補助資料としてのレジュメの作成等、総合的な能力が問われます。これまでに受講したすべての講義や実習を基礎とします。各自がもっとも興味のある分野を研究している教員を指導教員として選びます。その指導のもとで卒業研究を完成させます。
授業の概要	テーマに沿って各自、又はグループで主体的に取り組めます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：ガイダンス</b> 1年間で取り組む卒業研究について、計画を含めて解説する。	活動報告書
<b>第2週：卒業研究について</b> 研究室で取り組んでいる研究について紹介する。また趣味と仕事と研究との違いについても解説する。	活動報告書
<b>第3週：過去の卒業論文のレビュー</b> 卒業研究の立案に向け、過去の卒業論文から先輩方の取り組みについて学習します。	活動報告書
<b>第4週：卒業研究の立案、発表</b> 1年間で取り組むテーマについて立案し文章にまとめます。また、研究室内で発表します。	活動報告書
<b>第5週：取り組み①</b> 自身で設定したテーマに向けた仮説検証と問題解決に取り組めます。必要に応じてシステムやコンテンツを作成し調査分析を行います。	活動報告書
<b>第6週：取り組み②</b> 自身で設定したテーマに向けた仮説検証と問題解決に取り組めます。必要に応じてシステムやコンテンツを作成し調査分析を行います。	活動報告書
<b>第7週：取り組み③</b> 自身で設定したテーマに向けた仮説検証と問題解決に取り組めます。必要に応じてシステムやコンテンツを作成し調査分析を行います。	活動報告書
<b>第8週：中間発表</b>	

卒業研究で取り組んでいることをパネルにまとめて、発表します。		発表パネル
<b>第9週：取り組み④</b> 自身で設定したテーマに向けた仮説検証と問題解決に取り組めます。必要に応じてシステムやコンテンツを作成し調査分析を行います。		活動報告書
<b>第10週：取り組み⑤</b> 自身で設定したテーマに向けた仮説検証と問題解決に取り組めます。必要に応じてシステムやコンテンツを作成し調査分析を行います。		活動報告書
<b>第11週：取り組み⑥</b> 自身で設定したテーマに向けた仮説検証と問題解決に取り組めます。必要に応じてシステムやコンテンツを作成し調査分析を行います。		活動報告書
<b>第12週：取り組み⑦</b> 自身で設定したテーマに向けた仮説検証と問題解決に取り組めます。必要に応じてシステムやコンテンツを作成し調査分析を行います。		活動報告書
<b>第13週：口頭審問①</b> 卒業研究での取り組みで明らかになったことを、論文とプレゼンテーションにまとめ、口頭審問に臨みます。		プレゼン資料、卒業論文
<b>第14週：研究室訪問対応</b> 下級生からの研究室訪問に対して対応します。		活動報告書
<b>第15週：口頭審問②・ポスターセッション</b> 第13週で取り組んだ口頭審問の後に取り組んだことを、プレゼンテーションします。		プレゼン資料
<b>第16週：期末試験</b>		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	専門とする分野について、自身で調査研究できる能力の習得
<b>【知識・理解】</b>	専門分野について、自身で調査し、必要に応じて学び、問題解決できる知識の習得
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	専門分野にて、制作・システム構築・調査分析する能力と、調査結果を文章やプレゼンテーションにて、人に伝える能力の習得
<b>【思考・判断・創造】</b>	仮説検証に向けた仮説を立てる能力、計画だてた取り組む能力の習得

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		20点	5点	
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		20点	5点	
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		20点	5点	
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。		20点	5点	
<b>(「人間力」について)</b> ※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	レポートの提出、レポートの記載内容 卒業論文(必)、レジュメ(必)
発表・その他(無形成果)	課題やワークへの取り組み 中間発表(必)、口頭審問①(必)、ポスターデモンストレーション(必)